

〔二〕 次の漢字の総画数を算用数字で答えなさい。(十点)

- ① 磁 ② 難 ③ 延 ④ 卵 ⑤ 郵

〔二〕 次のア～オの漢字のうち一つだけ部首の異なる漢字がありますがどれですか、記号で答えなさい。(十点)

- | | | | | | | | | | | |
|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 「ア | 英 | イ | 幕 | ウ | 葉 | エ | 苦 | オ | 落 |
| ② | 「ア | 富 | イ | 宣 | ウ | 害 | エ | 察 | オ | 憲 |
| ③ | 「ア | 然 | イ | 蒸 | ウ | 熱 | エ | 無 | オ | 照 |
| ④ | 「ア | 装 | イ | 複 | ウ | 表 | エ | 初 | オ | 裁 |
| ⑤ | 「ア | 相 | イ | 榮 | ウ | 束 | エ | 柱 | オ | 東 |

〔三〕 次の——部の平仮名を、送り仮名をふくめて漢字に改めなさい。(十点)

- ① 不足をおおぎななう。
② 会社につつとめめる。
③ ああぶぶないない橋はしををわたたる。
④ 書物しよぶつををああららわわす。
⑤ いいちちぎぎよよいい決けつ断だん。

〔四〕漢字を二字組み合わせさせた熟語では、二つの漢字の間に意味の上で、次のような関係があります。(十点)

ア 反対や対になる意味の字を組み合わせたもの。

イ 同じような意味の字を組み合わせたもの。

ウ 上の字が下の字の意味を説明しているもの。

エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。

次の熟語は、右のア～エのどれにあたりますか、記号で答えなさい。

- ① 乗降 ② 収納 ③ 植樹 ④ 存在 ⑤ 朗報

〔五〕次の言葉の対義語(意味が反対や対になることば)、類義語(意味がよく似たことば)になるように、()にあてはまる漢字を

一字書きなさい。(十二点)

【対義語】

- ① 辞職 | () 職
 ② 目的 | 手 ()
 ③ 拾得しゅうとく | () 失

【類義語】

- ④ 未来 | () 来
 ⑤ 向上 | 発 ()
 ⑥ 助言 | () 告

「六」次の（ ）に当てはまる漢字を入れて四字熟語を完成させ、その四字熟語の意味をそれぞれ後のア～ケより選び、記号で答えなさい。（八点）

- ① 異（ ） 同音
- ② 一日千（ ）
- ③ 自（ ） 自得
- ④ 前代未（ ）

【意味】

- ア 待ちどおしい気持ち強いこと
- イ 外見は違うようで内容は同じであること
- ウ 自分のおこないの結果を自分が受けること
- エ 昔のことを研究して、新しい心理を得ること
- オ まだ早すぎることに
- カ 自分で自分をほめること
- キ 多数の人が同じことを言うこと
- ク これまでに耳にしたことがないこと
- ケ 一時に大きな利益を得ること

〔七〕 次の①～⑤について、敬意を示す表現として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。(十点)

- ① 先生の「ア おっしゃる イ 申される ウ 言う」とおりです。
- ② 先生のお宅に「ア 行っても イ うかがっても ウ おこしになっても」いいですか。
- ③ 先生に旅行のおみやげを「ア さしあげる イ くださる ウ あたえる」。
- ④ 先生はお食事を「ア いただいて イ 食べて ウ めしあがって」います。
- ⑤ 先生の絵をぜひ「ア 見たい イ 拝見したい ウ ごらんになりたい」です。

〔八〕 次の国名を漢字一字で表記したものはどれですか、後のア～コより選び、記号で答えなさい。(十点)

- ① アメリカ
- ② イギリス
- ③ フランス
- ④ インド
- ⑤ ドイツ

ア	天	イ	独	ウ	英	エ	院	オ	印
カ	仏	キ	医	ク	布	ケ	米	コ	度

「九」次の二つの文章（「、ロ）は、鷲田清一の『大事なものは見えにくい』の一節です。これを読んで後の問いに答えなさい。なお「、ロは設問の都合で付した番号です。（七十点）

I

プライドについては、少し¹誤解があるようにおもう。

プライドというと、なにか他人にできないような偉業^{いぎよく}を達成したときに当人のなかに生まれるもののようにおもわれている。他者によるそれへの評価が当人がおもっているほどに高くないときには、だから「プライドを汚^{けが}された」と言う。

だからまた多くのひとは、プライドをもつべく、じぶんだけがもっていて他人にはないような能力だとか素質を必死になって探す。言うてみれば、わたしがわたしとしてここにいる理由ないしは根拠^{こんきょ}がほしいのである。かつてよく口にされた「自分探し」というのも、プライドをもてないそういう焦り^{あせ}がそれを駆^かった^{注1}という面があるとおもう。

けれども、他のひとはなくてじぶんにはないものというのは、そうそうたやすく見いだせるものではない。どんな能力をもっていて、どんな素質^{めい}に恵^{めぐ}まれていても、さらにはどんな^aシカクをもっていて、それらはじぶんだけがもちうるものではなく、別のだれかももちうるもの、もっているはずのものだからだ。それは自分が備えている特性の一つではあっても、（A）である理由にはならない。

それに、特性は、なくす怖れ^{おそ}がある。歳^{とし}をとれば、そういう特性の多くはしだいにじぶんのなかから脱落^{だつらく}してゆく。いまこういう特性を活かしてこういう任務についているが、その特性も任務もいつ他人に奪^{うば}われるかしれない……。そういう怖れにいつまでも苛^{さい}まれる^{注2}。

²「こういうプライドは、いつ失うやもしれぬという不安と^b裏腹^{うらみ}である。

これとは反対に、プライドは他人から与えられるものだと考えることはできないか。他人に大事にされるとき、「もしあなたにこれができたら……」などという条件もつけないで、わたしがこのままで他人に大事にされていると感じられるとき、ひとはじぶんの「いのち」をそんなに粗末にはできないはずだ。

もし一週間、職場や学校を休んで、そのあとオフィスや教室に復帰したときに、だから何も訊ねられなかったら、ひとはじぶんはここにいてもいなくてもいい存在なのだと、深く傷つくであろう。だれかが「どうしていたの？」と訊ねてくれれば、ひとはじぶんがここにいることにはそれなりの意味があるのだと、じぶんの存在に少しは自信をもつだろう。他者にとってじぶんがなにか意味のある存在であることを身に沁みて知っていること、それがおそらくはひとがおのれの存在にプライドを感じるための条件である。その意味で、プライドは、³ 他者による是認^{注3}や他者からの注視によってこのわたしに贈られるものなのだ。

職場や教室が、あるいは休息のスペースが、アツい思いやりをもって整えられていると、ひとは、わたしは会社に(あるいは学校に)こんなに大事にされているのだと感じることができると。むかしの会社や学校の造りが、いまの会社や学校と比べて、相当に贅沢な造りになっていたのは、むかしのひとが社員や地域の子どもを大切におもっていた証^{あか}であろう。そういうときは、ひとはじぶんをもっと大事にしたのではないだろうか。プライドの根柢など問わずに、もう少しは堂々としていられたのではないだろうか。

わたし自身も大学・大学院にいた九年間、奨学金をいただいていたが、いまになっておもえば、見知らぬひとたちから(B)のだとおもう。その意味で、プライドをヤシナってもらっていたのだとおもう。その頃のわたしは、じぶんがこういってお金をいただくシカクがあるのかと(C) (うことはあっても、また学) (C) (の「腐敗」に。ゼツボウすることはあっても、学ごと自体に疑) (C) (はもたないでいられたのだから。

f メガネをどこに置いたか忘れる。数分前にかかってきた電話のことを忘れる。何かをしに行つて、何をしようとしていたのか忘れる。さつきごはんを食べたことを忘れる。道を忘れ、やがて目の前のひとがだれかが分からなくなる……。

このように、「忘れる」ということが、認知症に苦しむひとたちの行動の大きな特徴としてたしかにある。けれども、「もの忘れ」は、記憶が抜ける、記憶が消えると言いかえるには、あまりにも複雑な g ヨウソウをしめす。

たとえばいましがた言ったこと、ときに十数秒前に言った説明も忘れて、同じ質問をするというのは、たしかに直前に聞いた答えを忘れていたということではある。けれども質問したいはずと変わらない。つまり、こだわっていること、気になることは、ずっと手放さず、意識を占めている。翌日になれば、そのこだわりじたいも忘れるのだが、ちらっとでもそれにかかわる事柄が話題になると、また前日のこだわりが h 反復される。忘れてはいないのだ。

これを「忘れていない」と言い切ることに 4 ためらいを憶えないではない。「忘れていない」のではなく、こだわりのポイントが変わっていないと言ったほうがいいのかもかもしれない。

そのこだわりのポイントは、わたしがこれまで見聞きしてきたところでは、幼児期の思い出や血筋にかんすること、プライドにかかわること、損得に、あるいは所有にかかわることに集中する。とりわけ、幼児期の体験の記憶はあつとおどろくほど精密で、代わりに長い i フウフ生活の記憶はすっかり拭い去られている。母の介護のなかでこれを目の当たりにした友人は、妻の記憶からじぶんが消えないように、「もう手遅れだろうが」と言いつつ、食後の皿洗いに精出すようになった、そうだ。

それらへのこだわりは、忘れるどころか過剰なまでに執拗^{注4}だ。説明しても説明しても結局「納得」ということが起こらない。どんなテーマだったら、すぐに火が点くのか。どんなテーマだったら、心を素通りするのだろうか。

プライドもたしかに重要なポイントだ。たとえば、法事なんかがあると、親戚しんせきに会うと思っただけでストレスがかかる。何かミスをしな
いかと心配になるにちがいない。けれど、それなら欠席すればと言われると、プライドが許さない。そして、それが重ねて心に負担をかけ
る。じぶんの「忘れ」が悟さとられはしないか、それがいちばんの気がかりなのだろう。その意味では、「忘れ」がひどいことを忘れてはいな
いのだ。

⁵ 高こう齡れいになっただひとたちを眺ながめていて不可解ふかなことが、もうひとつある。歳がゆけばゆくほどのんびりしていいはずなのに、歳がゆく
ほどせつかちになる。待つということができなくなる。あるいは、歳がゆけばおっとりとして、何事なにごとにも無頓着むとんちゃくになると考えるのは
「早計はやけい」。反対に、「あんなに（D）だったひとが……」ととまどうばかりにアグレッシヴ注6になる。これも不思議なことだ。歳がいけ
ば「そんなこと、わたし知らんわ」と（E）責任になるはずが、逆にかつての知識を盾たてに、「そんな大事なことをいいかげんにして…
…絶対あかん！」と、まわりの者を責めだす。

おまけに、もうひとつ。おとしよりは、都合の悪いことは聞こえないのに、褒め言葉ほめことばはちゃんと聞こえる。聞かれたらまずいとおもって
いることはちゃんと聞こえてしまうのに、大事なことはなかなか聞こえない。

何かを意識いしにこびりつき、何かはどうしても⁶意識いしにひつかからない……。この機制注7、とても不思議である。が、よくよく考えれば、
それぞれの年代に同じことが起こっているはずなのだ。子どもの頭を占めているもの、中年の意識をがんにがらめがらめにしているもの……。そ
れぞれにみな、同じ機制きざいのなかを動うごいているにちがいない。⁷おとしよりのそばにいて不思議なことはみな、不思議と思うひと自身みづかみに送り
返かえされる。

【語注】

注1 駆った … せきたてる。

注2 苛まれる … 苦しめ悩ます。

注3 是認 … よいと認めること。

注4 執拗 … がんこ。片意地。

注5 無頓着 … 少しも心にかけないこと。

注6 アグレッシヴ … 攻撃的。

注7 機制 … 仕組み。メカニズム。

問1 文章中の「部 a、j」の漢字はひらがなに、片仮名は漢字に直しなさい。

問2 ———部1「誤解」とありますが、どのような誤解ですか、答えなさい。

問3 文章中の（A）に当てはまる言葉を十字以内で文章中から抜き出しなさい。

問4 ———部2「こういうプライド」とありますが、どのようなプライドですか、答えなさい。

問5 ———部3「他者による是認や他者からの注視によってこのわたしに贈られるもの」とありますが、これを簡単に言いかえた部分を本文中からぬき出しなさい。

問6 文章中の（B）に入る文章は、次のア～オのうちどれですか、記号で答えなさい。

ア 自分だけがもっていて他人にはないような能力があると判断されていた

イ わたしが他人にできないような偉業を達成したとまとめられていた

ウ 学生としてのわたしの存在が大事にされていた

エ わたしが学生であることに条件をつけられていた

オ わたしが意味のある存在であるか問われていた

問13 ——部7「おとしよりのそばにいて不思議なことはみな、不思議と思うひと自身に送り返される」とありますが、どういふことですか、一文で答えなさい。

問14 ㊦の文章の中で「思い出す」という状態を例えて表現している語句を五字以内で答えなさい。

問15 ㊦、㊧のそれぞれのタイトルとして最もふさわしいものの組み合わせは、どれですか。次のア～カより選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|---|--------------|------------|
| ア | ㊦ プライドの欠点 | ㊧ 認知症の不思議 |
| イ | ㊦ プライドの欠点 | ㊧ 「忘れ」の不思議 |
| ウ | ㊦ 自分が備えている特性 | ㊧ 複雑な記憶 |
| エ | ㊦ 自分が備えている特性 | ㊧ 認知症の不思議 |
| オ | ㊦ プライドということ | ㊧ 「忘れ」の不思議 |
| カ | ㊦ プライドということ | ㊧ 複雑な記憶 |

受験番号	氏名	採点
------	----	----

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

①	②	③	④
⑤			

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

①	②	③	④	⑤	⑥
---	---	---	---	---	---

漢字	意味	漢字	意味	漢字	意味
①	②	③	④	⑤	⑥

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

問 1		問 2		問 3		問 4		問 5		問 6		問 7		問 8		問 9		問 10		問 11		問 12		問 13		問 14		問 15			
a	f													イ	エ																
b	e																														
c	h																														
d	i																														
e	j																														

九

受験番号

氏名

受験番号	氏名	採点
------	----	----

一	①	14	②	18	③	8	④	7	⑤	11
---	---	----	---	----	---	---	---	---	---	----

二	①	イ	②	才	③	イ	④	エ	⑤	ア
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

三	①	補う	②	勤める	③	危ない	④	著す	⑤	潔い
---	---	----	---	-----	---	-----	---	----	---	----

四	①	ア	②	イ	③	エ	④	イ	⑤	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

五	①	就	②	段	③	遺	④	将	⑤	展	⑥	忠
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

六	①	漢字	口	意味	キ	②	漢字	秋	意味	ア	③	漢字	業	意味	ウ	④	漢字	聞	意味	ク
---	---	----	---	----	---	---	----	---	----	---	---	----	---	----	---	---	----	---	----	---

七	①	ア	②	イ	③	ア	④	ウ	⑤	イ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

八	①	ケ	②	ウ	③	カ	④	才	⑤	イ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問1	a	資格	b	うらはら	c	厚	d	養	e	絶望
	f	眼鏡	g	様相	h	はんぷく	i	夫婦	j	そうけい
問2	<p>フライドが、他人にできないような偉業を達成したときに生まれるものように思われているという誤解。</p>									
問3	<p>わたしがわたし</p>									
問4	<p>自分が備えている特性によって生まれているフライド</p>									
問5	<p>他人から与えられるもの</p>									
問6	<p>ウ</p>									
問7	<p>問</p>									
問8	ア	<p>ためらいを憶える</p>								
問9	<p>「くだわりのないことはすぐに忘れてしまうのに、くだわりのあることに対しては過剰なまでに執拗になったり、歳がゆくほどのんびりしていいはずなのに、歳がゆくほどせっかちになったり、都合の悪いことは聞かえないのに、褒め言葉はちゃんと聞こえたりすること。」</p>									
問10	<p>オ</p>									
問11	<p>イ・エ</p>									
問12	<p>心を素通りする</p>									
問13	<p>おとしよりのそばにいて、不思議だと感じていることは、やがて(歳をとれば)自分にもくり返されるといふこと。</p>									
問14	<p>火が点く</p>									
問15	<p>オ</p>									

九

受験番号	
氏名	